

紫微斗数推命が教える仲間由紀恵さんの財運と仕事運

仲間由紀恵様 1979年10月30日 21時0分 沖縄県

紫微斗数推命でみる財運や仕事運というのは、社会の目でみた仲間由紀恵さんの評価という観点で見るとはなりません。仲間由紀恵さん自身がどうすることが一番喜べるのか？という心理的観点から占うのです。仲間由紀恵さんは、どうやったらお金を手にすることができるか？どうすれば、お金を失うか？ということに関しては、財帛宮または遷移宮を見ます。また、どうやったら人間関係で成功することができるか？どうすれば、失敗するか？に関しては官禄宮または父母宮の星を見ます。（星が入っていない場合は、対冲宮を見るという画一的な見方はしません。）

仲間由紀恵さんは、どうやったらお金を手にすることができるか？どうすれば、お金を失うか？

仲間由紀恵さんの財運は破軍星ですから、人よりもお金に対する欲求が強く、お金を得るための行動も激しいものがあるようです。そして、手にしたお金は、じっくりと運用していく、ということができずに、あればあるだけ使ってしまいたいという特徴があります。ですから、どんな仕事をするにしても、お金が多く得られるような職業でないと満足できません。お金が得られない場合は、人がやっていないこと、これまでの常識を覆すような、新規事業を、万難を排してやっていくことで、心がうれしくなっていくのです。平凡なサラリーマン、平凡な給与、平凡な地位、平凡な生活、周囲の人達と同じような生活、といったものでは満足できないのです。ですから、非常に革命的で投機的な考え方が得意で、これまで大企業が独占してきたような事業を、根底から変えていくようなIP電話の販売や、店舗を持たないインターネットによる通販、ユニクロに代表されるような価格破壊といった事業に向いているのです。まるで、既存の勢力や常識と戦い、常識的な人から非難されることが生き甲斐のようなどころがあります。そして、儲けたお金は、さらなる拡張のためにどんどん浪費していく特徴があります。仲間由紀恵さんは、このように人よりもお金を儲け、人よりもお金を使っていくことで、心がうれしくなるわけですから、その本性に素直に従って、商売をスタートしてみるのも良いでしょうし、思い切って贅沢な暮らしをしてみるのも良いことなのです。豪邸に住み、高級車を何台も持ち、夜の街で一晩に百万円くらい使って遊んでみるといったこともやってみると良いでしょう。そういった中で、また悟るものもあるはずなのです。仲間由紀恵さんにとって、一番不幸なことは、お金が欲しい、やりたいこともある、しかし決心が付かないまま、平凡なサラリーマンや公務員のまま生涯を終えていくことなのです。もし、心の底で、本当の自分は、こんなはずではない、もっと何かがやれるはずだという欲望が消えないで燃えているのであれば、積極的にその欲望を達成するための努力をすることです。たとえば、会社の仕事は早めに切り上げて、自宅でセカンドビジネスをスタートしてみるとか、水商売の店でアルバイトをしてみるとか、とにかく、通常的生活では得られないものを得るために、挑戦してみるということなのです。それで、失敗しても再び立ち上がってくるだけのパワーがあるのが仲間由紀恵さんですから、考えるより実行してお金を得ることができるタイプなのです。

仲間由紀恵さんは、どうやったら人間関係で成功することができるか？どうすれば、失敗するか？

仲間由紀恵さんの職場運は七殺星ですから、私心のない公平な上司や、リーダーに恵まれていたとしても、従順にその人から従っていくわけではありません。どんなにリーダーが優れていても、また、仲間由紀恵さん自身が、その才能と人柄を認めていたとしても、仲間由紀恵さんが従順にそのリーダーに従っ

ていける期間というのは、4～5年ではないでしょうか。なぜならば、仲間由紀恵さんは、今の環境を改革し、変えていくことに生き甲斐と楽しみを、発見していくタイプだからです。安定した環境で、安定した仕事をしていると、どんなに給与が良くても、どんなに優れた上司に恵まれたとしても、やがては飽きてしまうという傾向があるのです。ですから、人間関係は、スムーズにいったとしても、それでは満足しないのです。むしろ、上司と戦い、部下を率いて、社内の改革をしていくような戦時の環境におかれているほうが、心が楽しくなってしまうのです。どうしても、人の上に立ちたいという欲求が先行してしまうので、実力が伴わない場合は、無理に人を押さえつけるという行動になりやすく、人間関係は非常にトラブルが多いものとなるでしょう。しかし、人の上に立つという天賦の才能と欲求がどんなに、あったとしても、学習と経験なしには、人の上に立って采配をふるうことはできません。20代から30代のうちは、正義感が強く、部下から慕われ、幹部からも信頼され、しかも、力強く事業を押し進めていくようなリーダーのもとで、修行を積んだほうが良いのです。そういった優れたリーダーのもとで、仕事をしながら、少しずつ責任のある立場になっていくのが仲間由紀恵さんが成長していけるただ一つの方法なのです。そして、重要なことは、本当の意味で、腹を割って話せる親友は、そういった下積みの時代にしか、作ることができないということなのです。もし、仲間由紀恵さんがリーダー的な立場になってしまえば、どうしてもその地位と権力が災いして、人は、本音をいえなくなってしまうからです。ですから、若いうちに、ともに汗を流し、涙を流しながら仕事をした友人は、生涯の仲間由紀恵さんの宝として大切につきあっていく必要があるのです。